

平成 20 年 1 月 24 日

第 1 回エネルギー変換懇話会シンポジウムのご案内

エネルギー変換懇話会
会長 本間 琢也

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃エネルギー変換懇話会の活動にご協力いただきまして有難うございます。当懇話会では、昨今の環境問題に対応するエネルギー技術の重要性に鑑み、関連課題を議論するシンポジウムをシリーズ化し、人類と社会の発展に貢献すべき活動を開始することといたしました。下記のとおり第 1 回目のシンポジウム開催をご案内いたします。皆様には年度末でご多忙とは存じますが、是非ご参加のほど、お願い申し上げます。

記

日時： 平成 20 年 3 月 7 日（金） 13:30～17:50， 懇親会（18:00～19:30）

場所： 科学技術館 6 階 第一会議室

東京都千代田区北の丸公園 2 - 1

（地図およびアクセス詳細：<http://www.jsf.or.jp/map/>）

シンポジウム名称：

第 1 回エネルギー変換懇話会シンポジウム

（設立 45 周年記念，エネルギー用語辞典出版記念）

テーマ：

地球温暖化対策に寄与するエネルギー技術の本質を問う

趣旨：

地球温暖化対策の要請が高まる中、実効的かつ即効性のある低環境負荷エネルギー技術の早期普及を導かなければならない。これまでけっこう長い時間と多くの予算を投入して、各種新エネルギーおよび省エネルギー技術の開発が進められてきた。しかしながら、太陽光発電や風力発電等のように実用段階に達している技術はあるものの、コストや系統運用との関係で CO₂ 排出削減効果は限定的であり、大規模導入にはまだ多くの課題を解決していく必要がある。水素エネルギーなどその他の技術に関しては実用までに越えるべき障壁が少なからず立ちはだかっていることは言うまでもない。本シンポジウムでは長きにわたりそれぞれのエネルギー技術に携われてこられた立場での経験から、ブレークスルーを突破するための本質について語ってもらうとともに、実用を加速するための開発の方向や解決課題に関しての本音を述べていただく。

プログラム：

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| (1) 開会宣言（エネルギー変換懇話会実行委員長） | 13:30～13:35 |
| (2) 来賓挨拶（産業技術総合研究所研究コーディネータ 神本正行） | 13:35～13:40 |
| (3) DEC の現状説明と今後の抱負（エネルギー変換懇話会会長） | 13:40～13:45 |

- (4) 講演 (講演 30 分 + 質疑 10 分)
- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1 . 水素エネルギー社会に至る道 “理想と現実” | 13:45 ~ 14:25 |
| (筑波大学名誉教授 本間琢也) | |
| 2 . 電力用燃料電池や二次電池の現状 | 14:25 ~ 15:05 |
| (豊橋技術科学大学名誉教授 恩田和夫) | |
| 3 . 太陽エネルギー・その真の意味 | 15:05 ~ 15:45 |
| (東京農工大学教授 黒川浩助) | |
| (休憩) | 15:45 ~ 16:00 |
| 4 . 風力発電の現状と将来展望 | 16:00 ~ 16:40 |
| (足利工業大学副学長 牛山 泉) | |
| 5 . 新エネルギーと系統連系 | 16:40 ~ 17:20 |
| (電力中央研究所特別顧問 武田行弘) | |
- (5) 総合討論 (30 分) 17:20 ~ 17:50
- * 懇親会 (科学技術館地階レストラン「ザ・スペース」) 18:00 ~ 19:30

参加費：

エネルギー変換懇話会個人会員	無料
同 団体会員	2 人まで無料 (3 人目からは 1 人 5,000 円)
同 顧問、役員および委員	5,000 円
後援団体会員	8,000 円
一般	10,000 円
学生	5,000 円
懇親会 (全員)	4,000 円

参加申し込み方法：

添付書式にてお申し込み下さい。締め切りは平成 20 年 2 月 29 日 (金) です。

定員： 90 名 (会場の都合により制限がありますので早めにお申し込み下さい)

主催： エネルギー変換懇話会

共催： (株)新エネルギー総合研究所

後援： (予定)(社)日本電機工業会, (社)電気学会, エネルギー・資源学会, 日本太陽エネルギー学会, 日本風力エネルギー協会, 燃料電池開発情報センター, 再生可能エネルギー協議会, (株)オーム社

問い合わせ先：エネルギー変換懇話会 事務局

102-0091 千代田区北の丸公園 2-1 (財)日本科学技術振興財団内

電話:03-3212-8487 FAX:03-3212-0014 e-mail:dec/jsf.or.jp

以 上